

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人尚生会 加茂病院 新本館	階数	地上2F
建設地	兵庫県加東市多井田字蛸子ノ谷69	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	194 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2021年12月24日
敷地面積	2,349 m ²	作成者	森田 直樹
建築面積	1,374 m ²	確認日	2021年12月27日
延床面積	2,555 m ²	確認者	森田 直樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 88%
③上記+②以外の 88%
④上記+ 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	施設利用者の健康に配慮し、室内環境、サービス性能を重視した計画とした。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
庇・ブラインド・カーテンを組合せ、昼光を制御する。建材には化学汚染物質放出の少ない物を採用する。病室部は騒音、開口部遮音性能にも配慮する。	バリアフリーに配慮した設計とする。天井高を十分に確保する事で、心理的快適性を求める。CG等でインテリアを検討し、間接照明を多用した照明計画と一体として計画する。	兵庫県産木材を用いた庇を設け、アメニティの向上を図る。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
Low-Eガラスの採用、断熱材の適切な計画により、熱負荷の抑制に配慮する。	自動水栓、節水型便器の採用により、水資源保護に配慮する。	広告物照明等、光害に配慮した設計とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される